

# Dialog



世田谷区民合唱団会報 Vol.166

2024年度1号  
2024.6.発行

## 2024年度



令和6年《2024年》4月24日水曜日 午後8時～9時

第35回 世田谷区民合唱団定期総会が成城ホールにて開催され、全ての議案が承認されました。

### 🌸 会報の内容 🌸

☆2024年度 役員紹介

☆第九を終えて

☆ボランティア企画会より



@ichihana\_preserved

☆今年度選出された役員の皆様です(敬称略)

運営委員長	神保 仁士 (留任)	Bass
運営副委員長	未永 裕一 (留任)	Tenor
運営副委員長	鈴木 マリ (新任)	Soprano
書記	葛西 裕子 (新任)	Soprano
書記	徳尾 和彦 (新任)	Bass
会計	藤波 明平 (留任)	Bass
会計	島袋 典子 (新任)	Soprano
会計監査	富田 陽子 (留任)	Soprano
会計監査	安川 喜久夫(留任)	Bass
演奏委員長	菊地 順子 (留任)	Soprano
地区委員長	長田 弘美 (新任)	Alto
広報委員長	三留 修平 (留任)	Bass
コミュニケーション委員長	名倉 由美子(新任)	Alto



## 今年度の役員をご紹介します(敬称略)

### 運営委員長 神保仁士



今年度も運営委員長のお役目を任されました。記憶と行動力の衰えに自覚を益々認識する年代ですが、引き受けた以上は何かお役に立てるように努力を重ねたいと思います。

今年の定期演奏会は漸くホームグラウンドで開催することが叶いそうです。

コロナや改修工事の遅延で開催断念や不自由な思いをしてきました。この間に運営に携わって頂いた委員の皆様には、前例のない取り組みばかりで試行錯誤の連続でしたが、何とか乗り越える事が出来ました。これまで運営に携わって頂いた委員の皆様のご

尽力に感謝申し上げますと共に、団員の皆様方のご協力に御礼申し上げます。

定期演奏会、名曲コンサートが予定通りに開催される様になり、施設訪問も徐々にではありますが様々な制約から解き放たれつつあるようです。団の活動も徐々に従来の形に戻りつつあります。戻れたことを喜ぶだけでなく、これからは新たな歴史を刻むべく、素敵な未来に向かって皆様と共に音楽を楽しみながら活動を継続して行きたいと思っております。新たな運営委員の皆様共々宜しくお願い申し上げます。

### 運営副委員長 末永裕一



昨年に引き続き、副運営委員長を務めさせていただき末永裕一です。まだまだ団の運営には慣れず教わることも多いですが、世田谷を代表する大合唱団として皆様の特色を生かした良い演奏が届けられるように、当合唱団の円滑な運営に努力してまいりますので、ご協力とご支援を宜しくお願い致します。

2年前、合唱未経験だった私が入団した動機は、①歌が好きで合唱を体験したい、②医者から肺活に良いと言われた、などの節操のない理由でしたが、ここまで続けることができ自分のペースもつかめてきた所です。仕事と合唱を両立させながら、十分な練習ができない時もありますが、粘り強く継続していきたくと思っています。合唱を通じて、皆さんと交流を深めるのを楽しみにしていますので、よろしくお願いいたします。

## 運営副委員長 鈴木マリ



思いがけず運営副委員長を務めさせていただくことになりました。皆様大いに不安とは思いますが、一所懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

コロナ前にコミュニケーション委員長を担当してからは、人生いろいろで合唱団活動に割ける時間が限られてしまいました。休団し演奏会にも出られず、団の運営には全くお役に立てなくて申し訳ありませんでした。そんな中で「そういう時もあるよ。状況が変わればあなたはきっと力を貸してくれるから」と言ってくださったこと忘れません。今ようやく困りごとの数々がコントロール可能範囲に落ち着き、団運営に参画することができるようになりました。微力ではありますが、運営委員の一員としてチームワークを大切にサクサク・パキパキと活動していきたいと思っています。



## 書記 徳尾和彦



選考委員長の木下さんから要請があり、団に貢献しなくてはの気持ちもあり、中味を余り知らない内に引き受けました。以前に会計をしたことがあり2回目の委員です。

書記は、運営委員会便り作成、専門委員・選考委員選出の書類や名簿の作成、総会資料・議事録作成、定演関連（招待状、アンケートなど）、役員就任挨拶状、連絡網作成など、団内部の情報共有、総務的な仕事と予想以上に作業が多いうえに細かく、また正確でなくてはならず気が重いです。ペアを組む葛西さんと取り組んでいきたいと思っています。

前任の森川さん、稲田さんがとても丁寧なされていて及ぶべくもありませんが、その指導を受けつつも、作業を見直し効率化を視野に入れて（働き方改善）進めていきたいと思っています。まず、最初の仕事は運営委員会便りや名簿の整備・発行からです。至らぬ点もあると思いますが、よろしくお願いいたします。

## 書記 葛西裕子



今年度、書記、広報委員、ボランティア企画会世話役を担当することになりました、ソプラノの葛西裕子です。昨年3月末に入団し、その直後、総会に出席した際には、「大きい合唱団は組織も複雑で、大変そうだなあ。私には遠い世界だなあ」と感じておりました。ヴォイスチェックでソプラノに決まったものの、お知り合いも居ない合唱団で果たしてやっていけるのか、入団当初はとても不安だったことを今でも思い出します。まさか、一年後の総会で、このような大きなお役を担わせていただくことになるとは、想像もしておませんでした。実際、今でも団運営を理解しているとはとても言い難く、書記のお仕事の一つ一つに右往左往しており、広報委員のお仕事も教えていただくことばかりです。また、ボランティア企画会も、高齢者施設でのボランティアに興味があり、入団後すぐに2回ほど練習参加はしたものの、仕事との兼ね合いでなかなか施設訪問に参加できなかった初めの半年でした。昨秋から、徐々に活動に参加でき、数回の訪問演奏を終えた現在、まさか、世話役として運営側になるなど、これまた想像だにしておませんでした。世話役としてまだまだ力不足な私ですが、微力ながらできることから頑張っていきたいと思います。諸先輩方のお力なくしては、活動が成り立たないので、今後ともご指導のほどお願いいたします。協力団員も徐々に増えてまいりました。月に一度の練習ですが、興味がある方は、いつでも練習にご参加ください！

というわけで、入団当初の「お知り合いが一人も居ないけれど、やっていけるだろうか」という不安は、皆さまのおかげで今は全くなく、代わりに、「私の能力でこのお役目を果たせるだろうか」という不安でいっぱいな今日この頃です(笑)。いろいろと、抜けているかもしれませんが、そんなときは、そ〜と教えてください。今後とも、何卒よろしくお願いたします！！

## 会計 島袋典子



2024年度会計を務める事になりました、ソプラノ島袋典子です。会計・経理とは無縁の世界にありましたが、会計の先輩藤波様、他役員の方々にご指導、ご助言をいただきながら正確に迅速に対応出来るよう務めてまいります。

またご推薦いただいた方々のご期待に沿うよう、合唱団の運営に少しでもお役に立てればと思っております。



## 会計 藤波明平



今年も会計担当を務めさせていただきます、藤波です。昨年は初めての経験で戸惑うことも多くありましたが、皆様のご協力のおかげで無事に一年を乗り切ることができました。この場を借りて、心よりお礼申し上げます。本年も引き続き、合唱団の健全な財政運営に努めてまいります。活動費や会費の管理をはじめ、必要な資金の確保と適正な支出の実現に向けて、透明性のある会計処理を心がけます。また、昨年の反省点を踏まえ、よりスムーズで効率的な運営を目指し、改善策を取り入れていく所存です。

皆様からのご意見やご要望を大切に、共により良い合唱団を作り上げていけるよう努力いたしますので、どうぞよろしく願いいたします。何かご不明な点やご質問がございましたら、いつでもお気軽にお声掛けください。

今年も素晴らしい音楽の時間を共有できることを楽しみにしております。

## 会計監査 富田陽子



2024年度の会計監査を仰せつかりましたソプラノの富田陽子です。

多数の新入団員の方々をお迎えし、コロナ前の賑わいが戻ってまいりました。

より一層魅力的な合唱団であるために、皆様からお預かりした大切な会費が適切で的確な会計管理がなされているか、慎重かつ丁寧に監査してまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 会計監査 安川喜久夫



この度3年目の会計監査を仰せつかりました安川喜久夫(バス14)です。引き続き仕事を抱えながらにはなりますが、少しでも皆さまのお役に立てるよう努めてまいる所存です。

当合唱団のお仲間に加えて頂き

いつの間にか6年も経ってしまいました(COVID-19 禍による活動制限を考えれば実質3年ですが…)

この間、強く印象として残っているのは、やはり4年前公演直前で中止となった初挑戦のベートーヴェン第九を本年2月尾高先生の下でリベンジ出来たことでしょうか。

そして今年度は大好きなフォーレのレクイエム。元々学生時代にLPレコード(アンドレ・クリュイタンス指揮、パリ管、バリトンソロはデイトリッヒ・フィッシャー=ディスカウ)で出会って感激、また、2013年偶々旅先のスペイン・バルセロナのサグラダ・ファミリア教会内で演奏会に遭遇して魂が震えた経験も。そして2016年には以前所属していた青葉区民合唱団で歌うことも出来ました。

そんな思い出深い曲をもう一度歌えることが何よりの大きな楽しみとなっています。あの天上にいざなわれるが如くのメロディーと和音の変化こそ我々四声の聴かせどころ。皆さまと共にハーモニーの高みを目指してまいりましょう。どうぞよろしく願いいたします。

## 演奏委員長 菊地順子



今年度も引き続き演奏委員長を仰せつかりました菊地順子です。

今年はいよいよ世田谷区民会館ホールの建て替えが完成し、9月には世田谷での定期演奏会が開催されます。演奏委員長を再びお引き受けした理由は、新しい建物でいかにスムーズに定演が運営されるだろうか、という心配な気持ちがありました。新しい方にお任せして苦勞されるなら、もう一度お引き受けして、私の経験した運営方法を活かせれば幸いと思います。(老婆心ですが。)

散々苦勞して行った烏山区民会館・玉川区民会館での定演を経て、待ちに待った「世田谷」での定演です。団員の皆様と力を合わせて定演を成功させましょう。「第九」の時の尾高忠明先生に引き出された、私たちの持っている元々の力以上の力が出せますように。

今年度もよろしく願いいたします。

## 地区委員長 長田弘美



今年度、地区委員長に就任致しました長田弘美です。ナガタではありません。オサダです。

まず、自己紹介をさせていただきます。私は 2019 年にオーストラリアのバンバリーで歌うためにこの合唱団に入りました。職業は内科医、専門は循環器ですが、今は、品川の日野原記念クリニックで人間ドックや健診の仕事を主にしています。団員の皆様、健診を受けていらっしゃるでしょうか、特にガン検診は受けてくださいね。

地区委員の仕事はどちらかと言うと、難しい事はなく、会場を整え、他の委員の方々が作ってくださったプリントを配布したり、アンケートを回収したりを各会場で行うことです。5 時半から開場しますので、時間的な余裕のある方ならどなたでも出来る仕事です。5 時半に来られなくても補いあって仕事をしてゆきたいと思しますので 5 時半に間に合わなくても大丈夫です。地区委員はいつでも募集中です。地区委員全員と力を合わせて団員の皆様が合唱を楽しめるように力を尽くして行きたいと思ひます！

## 広報委員長 三留修平



昨年度に続き、2 期目の広報委員長を拝命しました三留 修平（みとめ しゅうへい）です。昨年度は、無我夢中で取り組む中で様々なイベントや活動を経験し、皆様のご協力を得て、最後に 35 周年記念誌を発行して、お陰様で無事終了することができました。ありがとうございました。ホッとする間もなく、本年度は、コロナ前と同様あるいはそれ以上のフルスケールの広報活動となりますので、気を引き締めて取り組んで行きたいと思ひます。

まずは、新装なった世田谷区民会館での、有料での定期演奏会成功のための広報活動があります。演奏会の鑑賞者増加を目指すことは勿論ですが、同時に、従来より指摘されている、当合唱団の課題である団員数の減少、高齢化と男女比の不均衡の緩和を念頭に置いて、可能なところで取り組んで行きたいと考えています。

具体的には、鑑賞者を幅広く広げるために WEB をより活用した合唱団の PR、団員募集活動の充実、チケットの販売、また、若い方や男声の多い団体へのアプローチとタイアップの模索、等々に取り組む必要があると考えています。

本年度は、幸いに経験豊富なベテランと若手で、5 人の融合チームを組み船出ができましたので、充実した広報活動に向けて邁進したいと考えています。どうぞ皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## コミュニケーション委員長 名倉由美子



私がコミュニケーション委員長をやらないかと声をかけられたのは、人見記念講堂での第九の演奏会の前日、リハーサル時に言われました。まだ入団1年にもならないのに…、委員経験もないのに…、パソコンもろくに使えるわけではないし…、無理だと思いと答えたのですが、大丈夫！教えてくれる人がいるからという事で引き受けることにしました。

しかし引受けたものの、だれに何を聞けばいいのかわからず、ハラハラしてました。3月末から4月にかけて私の娘の出産手伝いがあり、4月は総会の日のみのお出席でした。やっと5月半ばの練習から参加でき、すぐにコミュニケーション委員の顔合わせ、どのように進めるか話し合いました。

今年、富野さん、飯島さん、大野さんそして私の4人です。

ついに Dialog 新役員号(この号)に取り掛かりました。すぐにつまづき前任の柴田さんに電話、親切にいろいろ教えて下さり、また私の出来ない部分のフォローもしてくれました。本当に私に出来るのかという気持ちとちょっとだけ面白いなと思いつつ作っています。Dialog は、合唱団内の情報交換の場です。よろしくお願ひ致します。



☆第九を終えて (前回の号に間に合わず、今号での掲載です)

### 音楽家と政治

バス 井上英司

ベートーベンの「第九」演奏会も終わった。私にとっては20歳の時に大学のオケで初めて演奏し、その後アマチュアオケで2回、合唱団で3回、86年の我が人生で6回の「第九」が終わった。

ベートーベンの「第九」でアーレメンシェン、ブリューダーと唄うが、これは市民社会の到来を願っていたことを想像させる。

貴族の支援なくしては音楽活動を続けられない時代の中で、自己の思いとの矛盾に悩み、

葛藤がベートーベンにあったと思う。

昨年、ロシアによるウクライナへの侵略が始まり、多くのロシアの音楽家がロシアを去り、欧米に活躍の場を求めている。

NHK 交響楽団を、時折指揮するソヒエフもその一人である。

しかし、サンクトペテルブルグのマリンスキー劇場の音楽監督である、ゲルギエフはロシアに留まっている。

彼はウクライナ以前は、欧米の音楽界で評価が高く、数々のオケを指揮し音楽監督もしており、来日もしていたが、ロシアに留まったため、ウクライナ以降、欧米、日本の音楽界から拒絶されている。

彼のプーチン大統領に対する考えは伝わっておらず、分からないがロシアに留まり、音楽活動、後進の指導に当たっている。

私は15年程前に、ニューヨークのメトロポリタンオペラ劇場で彼の指揮する歌劇「椿姫」を妻と共に聞いたことがある。

外見は強面に見えるが、実に繊細な指揮をする、素晴らしい指揮者である。

政治により、音楽家が厳しい立場になることが、スターリン独裁の旧ソ連で起こっている。

スターリン時代、弾圧を恐れ、ソ連から去り米国に亡命した音楽家が多くいた。その中に、有名なラフマニノフ、プロコフィエフがいる。プロコフィエフは後年ロシアに戻るがラフマニノフは一生を米国で大変歓迎され、大きな活躍をし、米国で生涯を終えている。

この時、大きな弾圧を受け、命の危険もありながら、ソ連に留まったのが、ショスタコービッチである。

ピアニストとしても優れていたが、実に多くの作品を残している。

この弾圧の中で作曲された、交響曲第5番は感動を呼ぶ曲であるがこの曲の中に、ショスタコービッチの体制批判が密かに込められているともいわれている。

第二次世界大戦の最中、ナチスの軍隊がペテルブルグを包囲し食料が供給できなく、多くの市民が抵抗活動と飢餓のため亡くなる中でショスタコービッチはペテルブルグに留まり「交響曲7番、レニングラード」を作曲している。

私はこの曲を、ピアニストでもあるロシア人のアシュケナージがNHK交響楽団を指揮したのを聞いたことがある。

往時を想像させる実に感動的な演奏であった。

世田谷区民合唱団の定期演奏会で、ベルディの歌劇「アイーダ」の凱進行進曲を取り上げたことがある。この曲は大国エジプトがエチオピアを攻め、エチオピアの王女アイーダを捕虜として捕え、エジプトに凱旋する場面の歌であるが、ロシアによるウクライナ侵略後の時期であったので、ウクライナ侵略と重なり私は歌う気になれず定演の出演を辞退した。

私たちは属する国家とその政治体制と無縁であることはできない。

もし、その政治体制に反対である時、どのような声を上げるかは難しい判断であるが、音楽家もその態度を問われることになる。

前述のゲルギエフ、ショスタコービッチも苦しんだと思うが、私はその国に留まって、音楽活動を続ける彼等を尊敬したい。

以上

## ☆ ^^♪ボランティア企画会 お楽しみコンサート♪^^

前回の続きからご報告させていただきます。

3/14 木曜日 東北沢と笹塚の中間地点にある‘きたざわ苑’にお邪魔しました。とても立派な建物で4階まであり、1階の中央にはマシンエリア、右奥にはデイサービスエリアでしょうか、突き当りは吹き抜けとなっていて、2~4階からはガラス越しに上から見わたせる造りになっていました。

その突き当り、吹き抜け部分で14時~15時演奏が行われました。

‘花のまわりで’を歌いながら入場、皆様に挨拶、そして前半は歌の世界旅行と称してシートベルトをしめ、‘ふじの山’‘ともしび’‘エーデルワイス’‘おおシャンゼリゼ’‘サンタ・ルチア’‘大きな古時計’このアメリカで現地解散となります。

続けてソロタイム、‘マイウェイ’を篠田代表と団OGで指導者の添田さん、オペラドン・ジョバンニより‘手を取り合って’を神保運営委員長とソプラノ猪瀬さんが衣装をまどって歌います。

後半は一緒に歌いましょうコーナーで、‘フニクリフニクラ’‘かあさんの歌’‘みかんの花咲く丘’‘青い山脈’‘高原列車は行く’‘上を向いて歩こう(アンコール)’そして代表挨拶後‘今日のひととき’

これで演奏は終わりです。皆様とっても喜んで下さいました。私たちがピアニストの秋山さんの伴奏で、4階まで吹き抜けで声が響く気持ち良さを十分に味わうことができました。

3/28 木曜日、響堂ホールでのおたコン公開練習には、何人もの方に来て頂きまして、またアンケートにお答え下さりありがとうございました。

ここでは季節に合わせ少し曲を改め1部では‘ともしび’を外し、2部をソロと二重唱、‘愛の賛歌’を末永運営副委員長と添田さん、オペラ ジャンニススキッキよりプッチーニ作曲‘私のお父さん’(鮎川)、‘猫の二重唱’(葛西、名倉)、‘メモリー’(団OG 矢口)、‘手を取り合って’(神保、猪瀬)、‘マイウェイ’(篠田、添田)と振りまじえミュージカル風に仕上がりました。そして3部、みんなで歌いましょう、‘フニクリフニクラ’の替え歌‘鬼のパンツ’を鬼のパンツを持ち振りを入れながら歌いました。

4/23 火曜日に桜新町徒歩5分程の‘ケア悠々の家’を訪問しました。

プログラムは、前半で‘ともしび’外し‘カチューシャ’、ソロタイムでは‘愛の賛歌’(末永、猪瀬)‘パパパの二重唱’(神保、添田)、後半は施設からのリクエストで‘肩たたき’(利用者さんの中に入って行って歌に合わせて肩をトントン)、‘この広い野原いっぱい’など追加して歌いました。

5/16 木曜日、デイホーム玉川田園調布にお邪魔しました。こちらは自由ヶ丘、九品仏より徒歩7分の所です。12時集合、練習し演奏は13時30分より1時間です。

こちらのソロタイムでは‘市の花屋’(OG 矢口)、ジョバンニ日本語バージョン(神保、添田)でした。

後半は、新曲‘浜辺の歌’と‘バラが咲いた’が追加されました。

どこの施設でも非常に喜ばれ、またいつ来てくれますか？と尋ねられ、私たち皆も、嬉しい満足感と力(元気)をもらって帰ります。

名倉由美子

◎今回は4月よりおたコンに参加されている水谷利明さん(tenor)に感想を伺いました。



～初めての「お楽しみコンサート」～

ボランティア企画会による高齢者施設での訪問演奏「おたコン」。篠田代表(B)によれば、かれこれ200回を優に超える演奏実績があるとのこと。合唱団の定例行事・定期練習に加えての地道な地域・貢献活動に頭が下がります。

私は、4月23日/ケア悠友の家(桜新町)、5月16日/デイ・ホーム玉川田園調布に参加しました。詳細は、別掲の報告に委ねますが、それぞれ数10名の皆さんに迎えられ、いざ本番。誰もが口ずさめる世界各地の唱歌、懐かしの青春フォークソングなど、また趣向を凝らしたソロ・タイムもあり、魅せる??構成で盛り上がりました。

皆さんと一緒に歌の輪が広がり、共に楽しいひと時を過ごすことができ、思いのほか爽やかな気分となりました。

このような活動は市民合唱団の一つの姿だと思いますが、楽しみにして下さる皆さんのご期待に応えられ、こちらでも有難く思います。

これからも明るく元気に出来栄を上げなければ、と思いました。

昔、ジャズ・オーケストラの一員として高齢者や入院患者さんへの慰問活動をしていた時期がありました。もっぱら全員で歌う歌謡曲などの伴奏でしたが、皆さんの表情がグッと明るくなったり、涙されたことが思い出されます。

音楽には、皆さんそれぞれの想いに寄り添うことができる素晴らしい力がある、と今更ながら思います。

✿ 編集後記 ✿ ————— ✿ ————— ✿ ————— ✿ ————— ✿

テナーの大野です。今年度のコミュニケーション委員は、名倉委員長、飯島さん、冨野さんと私の四名です。飯島さん、冨野さんは経験者。名倉さんと私が新人。

これから輪番制で編集後記を担当することになり、委員長の指名でわたしが先頭バッターになりました。

今回のDIALOGはいかがでしたでしょうか？名倉委員長が前委員長の柴田さんから資料やノウハウを引き継がれ、大活躍をされた結果です。

今後は四人のメンバーで力を合わせて進んでいきたいと思っています。\_\_\_\_\_ ✿